

株式会社ブリヂストン
パブリックリレーション部門
東京都中央区京橋3丁目1番1号
〒104-8340
電話：03-6836-3333
FAX：03-6836-3184
<https://www.bridgestone.co.jp>

2022年8月10日

ブリヂストン 東南アジアの天然ゴム農園へ投資を強化

再生可能資源としての天然ゴムの持続的な供給を通じて、
より良い地球環境を将来世代に引き継ぐ

株式会社ブリヂストンは、タイヤの原材料となる天然ゴムの持続的な供給を目的として、当社が保有する東南アジアの天然ゴム農園^{*1}へ投資を強化することを決定しました。2030年までの投資総額は26.7百万米ドル（約32億円）です。^{*2}天然ゴム農園の持続的な運営を通じて、当社のバリューチェーン全体でカーボンニュートラル化、サーキュラーエコノミーの実現への取り組みを加速していきます。

持続可能な天然ゴム農園の運営を通じて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」^{*3}で掲げる「Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えること」、「Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐこと」、「Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくり」にコミットしていきます。



天然ゴム農園

ブリヂストングループは、サステナビリティを経営の中核に据え、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」に向けて、「断トツ商品」を「創って売る」「使う」「戻す」といった、当社グループのバリューチェーン全体でサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル化への取り組み

と、ビジネスモデルを連動させる「サステナビリティビジネス構想」の実現に向けた取り組みを加速しています。^{※4} 持続可能なタイヤとソリューションの普及によって、安心・安全な人とモノの移動を支え続けることに貢献するためにも、タイヤの主要な原材料である天然ゴム資源を持続的に確保していくことが重要だと考えています。

今回の投資は、再生可能資源としての天然ゴムの持続的な供給に向けて、自社農園の生産性の向上を図るものです。ゲノム解析技術を用いて選抜した安定した収量を持つ優良種（エリートツリー）の導入や自社農園内パラゴムノキの樹齢や植林サイクルを踏まえた計画的・継続的な植林、更には AI 画像診断を用いたパラゴムノキの高精度病害診断などの病害対策やビッグデータを活用した植林計画最適化システムなど最新のテクノロジーを導入することにより、同じ面積で収量を 2022 年計画対比 2035 年時点で約 2 倍に向上させていきます。^{※5}

ブリヂストングループは環境長期目標で、2050 年を見据えたカーボンニュートラル化、100%サステナブルマテリアル化を目指して、バリューチェーン全体で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化、加速しており、今回の取り組みはその一環となります。当社グループが保有する天然ゴム農園を持続的に運営することにより、現在樹木に固定されている約 590 万トンの CO₂ の維持に寄与していきます。今後も荒廃地への植林や優良種の拡大などによる固定量の拡大を図っていきます。

また、持続可能な運営に向けて不可欠な、地域との共生にも取り組んでいきます。東南アジアの自社農園においては、すでに地域住民への自社クリニックの解放、COVID-19 ワクチン接種や、農園の一部を学校用地へ提供、学習用パーソナルコンピューターを寄贈するなど、地域社会への貢献や持続可能なサプライチェーンの実現に向けた活動も実施していますが、パラゴムノキの苗木を小規模農家の方々へ配布すると共に生産性向上に向けた技術支援を実施し、地域社会の雇用促進などへも貢献していきます。

ブリヂストングループは環境負荷低減とビジネスの成長を両立し、今後も、従業員、社会、パートナー、お客様といった様々なステークホルダーと共に価値を創出することで、未来に対する責任を果たし、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

※1 株式会社ブリヂストンが保有する東南アジアの天然ゴム農園概要

- (1) PT BRIDGESTONE SUMATRA RUBBER ESTATE
所在地：インドネシア スマトラ島
設立日：2005 年
総面積：約 17.9 千 ha
従業員数：約 4.2 千人（21 年時点）
- (2) PT BRIDGESTONE KALIMANTAN PLANTATION
所在地：インドネシア カリマンタン島
設立日：1999 年
総面積：約 6.0 千 ha
従業員数：約 0.7 千人（21 年時点）

※2 1 ドル = 120 円にて算定

※3 ブリヂストングループは、「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。こ

れを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる8つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2022030101.html>

※4 Bridgestone 3.0 Journey Report（統合報告_2022）

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/integrated_report/index.html

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/integrated_report/pdf/ir2022_07_53-57.pdf

※5 天然ゴム資源への取り組み：「資源の継続的活用・生産性向上」と「資源の多様化」

https://www.bridgestone.co.jp/technology_innovation/natural_rubber/

➤ 2020年12月23日 AI画像診断を用いた「パラゴムノキ」の高精度病害診断技術を株式会社電通国際情報サービス（ISID）と共同開発

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2020122301.html>

➤ 2021年1月12日 ビッグデータを活用した高収量のゴム農園実現に貢献する「パラゴムノキ」の植林計画最適化システムを開発

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2021011202.html>

➤ グアユール事業について

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/integrated_report/pdf/ir2022_47-52.pdf

以上

<p>本件に関するお問い合わせ先</p> <p><報道関係> パブリックリレーション部門 G-パブリックリレーション部 TEL：03-6836-3333</p> <p><お客様> お客様相談室 TEL：0120-39-2936</p>
